

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第151号



2019年4月8日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9



合宿での講義 No. 4 提案型労働運動での地域産業創設

日本の食料自給率は39%以下です。県の産業廃棄物処分場からの松越川河口は75年前大楠・武山海兵団建設時の所有権問題、同様葉山ゴルフ場先からの前田川河口の公有水面埋立地の所有権問題が先送りされてきました。昭和30年代鉄道事業者が買収した所有権移転仮登記田畑は耕作放棄田畑で、相続登記問題と中小河川両岸の崩落地帯の農地整備とソーラーシェアリングでの丘陵地帯の農業再生と正規雇用労働者の安定産業の創設を、行政に具体的に提案しています。原発ゼロ・石炭火力ゼロで地域社会の地産地消費電力・食料生産等の循環型経済社会実現事業です。既に小田原市内では稲作育成共存農地内のソーラーシェアリング事業が開始されています。

全国一般労組 横三地区協

新倉正義

3. 13重税反対行動に100名！

3/13(水)午前、恒例の3.13重税反対集会在ヴェルクよこすかで行われ、100名が参加しました。集会参加者は集会后、税務署までデモ行進し、集団で確定申告を行いました。

7日投開票の神奈川県知事選挙では、ReBornの会の岸牧子さんが、70万91票(23.7%)を獲得して大善戦しました。横須賀では29,356票(22.4%)、三浦では2,137票(22.6%)でした。

各単組で新採用職員の組合員拡大！

三浦市職労では、4月2日に説明会を開催し、その場で7名が加入。5日さらに4名組合員拡大し、計11名の到達です。新採未加入者への呼びかけを進め、今後もさらに拡大を目指しています。

うわまち病院労組では、4/3の組合説明会に、日本医労連と県医労連の支援を受け、新採用50人全員にビラを渡し、29名が参加し、1名加入しています。25日に給与明細説明会を予定し、さらに拡大をはかります。

県職労でも、新規採用者が支部に20名配属されています。

